

冬の足音が一歩ずつ近づいてきています。皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「師走」は陰暦で12月のことですが、「師走」とは、どの様な由来であるか、ご存知でしょうか。実は、「師走」という言葉は当て字で、語源は、以下の通り諸説があり、正確な語源は未詳とされています。

師走の主な語源説として…

- 師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」という説
[この説は、平安末期の「色葉字類抄(いろはじるいしょう)」に、「しはす」の注として説明され、現代の「師走」と漢字の意味も近く、古い説であるため有力に思えるが、「師馳す」説は民間語源で、この説を元に「師走」の字が当てられたと考えられる]
 - 「年が果てる」意味の「年果つ(しはつ)」が変化したとする説
 - 「四季の果てる月」を意味する「四極(しはつ)」からとする説
 - 「一年の最後になし終える」意味の「為果つ(しはつ)」からとする説
- があるそうです。

12月の行事

- 13日 正月こと始め 23日 天皇誕生日(日本)
- 24日 クリスマス・イヴ (各国、主にキリスト教圏)
- 25日 クリスマス、終い天神、スケートの日
- 31日 大晦日(日本)



—12月の行事予定—



2F

3F

1日 防災訓練 防災訓練

8日 喫茶・誕生日会 ゲーゴル

15日 年賀状作成 喫茶・誕生日会

24日 クリスマス会 クリスマス会



こまごーロメモ：クリスマスの祝日化

クリスマスは多くの国で祝日となっているが、日本でも祝日になろうという話があります。日本においても、かつてこの12月25日が大正天皇祭として休暇日であった時期[1927年(昭和2年)～1947年(昭和22年)]があります。改めて祝日にするとなれば12月23日(天皇誕生日)と25日に挟まれた24日が国民の休日となります。さらに、年によっては21日から5連休となり、しかも、その後すぐに年末年始休暇となるため、(有給休暇などを上手く利用すれば)15連休前後の長期休暇が取りやすくなるという利点があるが、多くの企業にとって年末は繁忙期であることもあり、実現の見通しは全く立っていないそうです。

今年も一年、あまこだ新聞「ありんこ」を読んで頂き、ありがとうございました。来年も皆様に喜んで頂ける新聞を作りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

あまこだ職員一同